

令和3年度第1回 羽村市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日時	令和3年7月5日（月曜日）午後7時30分～午後21時05分
会場	市役所4階特別会議室
出席者	会長・道佛雅克、副会長・沖倉功、委員・塚田和彦、中村正人、林田香子、古川光昭、伊藤保久、平岩静子、平井敏子、渡辺明、川嶋賢二、野村由紀子、羽村典洋
欠席者	田中剛
議題	<p>1 会長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）令和3年度 羽村市地域包括支援センター事業計画等について</p> <p style="padding-left: 40px;">①令和3年度 羽村市地域包括支援センター事業計画書</p> <p style="padding-left: 40px;">②令和3年度 包括的支援事業・任意事業等実施計画</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）令和2年度 各事業の実績について</p> <p style="padding-left: 40px;">①令和2年度 羽村市地域包括支援センター相談内容</p> <p style="padding-left: 40px;">②令和2年度 介護予防・生活支援サービス事業対象者数及び給付管理件数</p> <p style="padding-left: 40px;">③令和2年度 介護予防・生活支援サービス事業利用状況</p> <p style="padding-left: 40px;">④令和2年度 介護予防サービス計画作成業務委託実績</p> <p style="padding-left: 40px;">⑤令和2年度 包括的支援事業・任意事業実施実績</p> <p style="padding-left: 40px;">⑥令和2年度 羽村市地域ケア会議実施実績</p> <p style="padding-left: 20px;">（3）令和元年度 羽村市地域包括支援センター事業評価について</p> <p style="padding-left: 20px;">（4）地域密着型サービス事業所について</p> <p>3 その他</p>
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度 羽村市地域包括支援センター事業計画書（資料1） ・ 令和3年度 包括的支援事業・任意事業等実施計画（資料2） ・ 令和2年度 羽村市地域包括支援センター相談内容（資料3） ・ 令和2年度 介護予防・生活支援サービス事業対象者数及び給付管理件数（資料4） ・ 令和2年度 介護予防・生活支援サービス事業利用状況（資料5） ・ 令和2年度 介護予防サービス計画作成業務委託実績（資料6） ・ 令和2年度 包括的支援事業・任意事業実施実績（資料7） ・ 令和2年度 羽村市地域ケア会議実施実績（資料8） ・ 令和元年度 羽村市地域包括支援センター事業評価結果（資料9） ・ 地域密着型サービス事業所（新規）（資料10）
会議の内容	<p>（会長） まず1番の「令和3年度羽村市地域包括支援センター事業計画等」につきまして事務局から説明をお願いいたします。</p> <p>（事務局） 資料1・説明</p> <p>（会長） ただいまの地域包括支援センターの事業計画等についてご質問、ご意見ござ</p>

いますでしょうか。ないようでしたら、次の資料2の「令和3年度支援事業・任意事業等実施計画」についての説明をお願いいたします。

(事務局) 資料2・説明

(会長) ただいまの説明に関しましてご意見、ご質問ございますでしょうか。平井委員いかがでしょうか。

(平井委員) 先ほどに戻っても大丈夫ですか。地域包括支援センターあゆみの認知症サポーター養成事業、というところで、多分高齢者の大多数の方がその講座に参加して色々知識を得たりしていると思うのですが、地域包括支援センターあゆみが書いているように、夜間や週末で養成事業に参加する対象者を多くの若い世代に促すことはとてもいいことだなと思いました。事前にいただいていた小学生・中学生カリキュラムも大変なので、そういう時間を割けるかどうか、学校としては分からないんですけど、地域としてならばご両親とか一緒に参加して、小さいお子さんは認知症つてものを知らないと思うので、話しかけること自体が怖いなって思うと思うんですけど、認知症は単に病気ってそういう風に分かれば、話しかけたりしても大丈夫かなと思ってももらえるんじゃないかなという感想です。あとは最近、迷い人の防災無線を聞かないんですけど前より少ないんでしょうか。昔は結構迷い人の知らせが、迷子じゃなくて認知症かなと思って聞いてたんですけど最近は認知症の方は少なくなったのかなと。あともう一つ、資料2になりますけど、家族介護支援事業、男性の方が奥さまやお母さまを介護している交流会を実施するとなっていますが、スタッフも男性だけで実施するという説明がありましたが、どのような意図があるのでしょうか。以上です。

(会長) はい、いかがでしょうか。男性だけということに対してのご質問。

(事務局) 事務局です。男性の介護者の方は女性を介護するにあたって、例えば下着の購入とかおむつ、そういったものを購入すること自体に戸惑いを感じるほか、外出先でのトイレの利用などについて、非常に繊細な相談が散見されます。そういったことには、より共感できる立場の者が接した方がいいだろうということで今回、こういった事業を企画しています、以上です。

(会長) よろしいでしょうか。

(市民生活部長) 先ほどお話ございました迷い人の件ですが、迷い人は減っている訳ではないと思うんですけど、防災無線に関しましては警察の方から依頼があれば適宜放送していくというような形をとっておりますので、たまたまこのところ無いのかなという感じで、ある時は結構立て続けにあるので、減っているということではないと思うんですけど、たまたまタイミング的に放送依頼がないというような形だと推測しております。

(会長) ありがとうございます。先ほどの男性のことなんですけれども、男性って女性のようにきめ細やかにできるかどうか私は疑問に思うんです。その点いかがでしょうか。平井委員はそういうことをお話ししたいんじゃないかなと思ったんですけど。

(平井委員) 介護者は男性だけ対象でいいと思うんですけど、あえてスタッフまでもが、議事進行なり助言なり、男性もちろん入っていいですし、女性の方がアドバイ

スしやすくないかなと思いました。女性が入ったときに男性は話しにくいのでしょうか。

(事務局) 家族介護交流会については年間3回を予定しておりまして、その1回を男性の介護者を対象に、男性のスタッフでやってみようという試みで、1つのチャレンジみたいところがございます。平井委員のおっしゃる通り、女性の方がきめ細やかな視点もあると思いますが、男性の集まりでしか話せないこともあるかもしれないというところで、やってみてそこから課題を洗い出して、来年度に活かしていきたいなと思います。認知症の関係ですが、認知症の事業もやっていますが、コロナ禍の関係で外出する機会がなくなっているですとか、過度に控えている方もいらっしゃると思います。そういった方からご家族等からフレイルや認知症が進んでしまっているという相談が増えてきております。そういったこともありまして、おっしゃる通り、認知症が何だか分からなくて怖いという部分もあるかもしれないのでメール配信や市公式サイト等活用しながら、普及啓発にも力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

(会長) ありがとうございます。続きまして、「令和2年度各事業の実績について」事務局からご説明をお願いします。

(事務局) 資料3、資料4、資料5説明

(会長) 資料3、4、5に関しましてご意見、ご質問ございますでしょうか。なければ次の「令和2年度 介護予防サービス計画作成業務委託実績」についてご説明をお願いします。

(事務局) 資料6説明

(会長) ただいまの説明に関しまして、ご意見、ご質問ありますでしょうか。なければ次の「令和2年度包括的支援事業・任意事業実施実績」の説明をお願いします。

(事務局) 資料7・説明

(会長) ただいまの説明に関しまして、ご意見ご質問ありますでしょうか。なければ次に羽村市地域ケア会議の実施実績についてご説明をお願いします。

(事務局) 資料8・説明

(会長) ただいまの資料8のご説明に対してご意見、ご質問ございますでしょうか。中村委員いかがでしょうか。

(中村委員) 地域ケア会議などやられていますが、災害時の優先避難などに関わる情報も、その会で把握できないかなと前から提案していたのですが。大規模な災害が起こった時の避難所の設定の仕方や福祉避難所の利用状況などを考えると、基礎情報があるのはこのあたりだと思うので、何か繋がりや、市内にどのくらい避難対象者がいるのか、どういう人が福祉避難所を利用するのかというのをちゃんと把握できればいいなと感じられますが、そういった検討はなさらないでしょうか。

(事務局) 地域ケア会議の目的は、介護の重度化防止と自立支援となっております。委員のおっしゃるよう防災の関係は大変重要な課題かと思いますが、現在のところはこういった内容で進めている状況でございます。避難する際に支援が必要な方に関

しては、別の部署になりますが、一覧を町内会等のご協力いただくところにお配りして、避難の際には手助けいただくよう把握はしております。今後、そういった方々の個別避難の計画を国で取り組んでいきたいと思いますといわれておりますので、今後検討してまいります。

(会長) では資料ができましたら、皆さんに共有できるような形になるんですね。

(事務局) 対象の方がかなり大勢いらっしゃるの個人情報なども含まれますから、提供はできませんが、市の取り組みとしてご説明はできます。

(会長) ありがとうございます。

(市民生活部長) ただいま中村委員からお話がありました件ですが、高齢福祉介護課長からお話がありましたとおり、今、防災安全課が担当しております、そちらで避難行動要支援者として名簿を作っています。そのなかでも避難時に介護が必要な方に対しての個別避難計画を今後作成していく予定ですが、その方たちに福祉避難所を優先して受け入れていく、また今後特養さんにご協力いただくようですけど、福祉避難所が市内に5ヶ所ありますが、それだけでは間に合わないの、福祉避難所の拡大も視野に入れているところでありますので、ご協力いただきたいと思います。

(会長) ありがとうございます。他にご質問なければ次の「令和元年度地域包括支援センター事業評価」につきまして、ご説明をお願いします。

(事務局) 資料9・説明

(会長) ありがとうございます。ただいまのご説明につきましてご意見、ご質問ございますでしょうか。ないようでしたら次の地域密着型サービス事業所につきましてご説明をお願いします。

(事務局) 資料10・説明

(会長) ただいまのご説明につきましてご意見、ご質問ございますでしょうか。ないようでしたら全体を通しましてのご意見ご質問ございましたら、お願いします。平岩委員いかがでしょうか。

(平岩委員) 質問ではないのですが、民生委員として私はいつも地域包括支援センターあさひに多大なお世話になっております。今ちょうど高齢者の実態調査をしております、去年はコロナでできなかつたんですけど、1年していないとかなり弱っている人がいます。亡くなった方もいます。ですから日頃の見守りがいかに大切かということを実感しました。人数が多いもので、私のところで75歳以上が135名、それを短期間で回るので、なかなか詳しい話はできないんですけど、このご時世で。でも待っている人は寂しいですから、私が行くと色んなことを話してくれます。だからそういう方の話を聞きながら、今この人はどういう状態なのかというのを見ながら実態調査している感じです。以上です。

(会長) 貴重なご意見をありがとうございます。

(古川委員) 資料2の一番上の段なんですけど、まいまい健康体操教室は昔から知っているんですけど、自主グループっていうのがどんなグループで、いくつくらいあるのか分かれば教えていただきたい。

(事務局) 介護予防体操を行う自主グループにつきましては現在15のグループをこちらで把握しております。市が説明会を主催し、ここに集まった皆さんで活動しませんかと提案し、その内容でやってみるといふグループを自主グループとして把握しています。指導者が不要で、こちらが配布するDVDを見ながら体操するというものです。平成30年度から自主グループが立ち上がるよう説明会を実施した結果、15ヶ所となっております。主には特別養護老人ホームや保育園ですとか地区会館などで皆さん活動されていらっしゃると思います。以上です。

(古川委員) ありがとうございます。

(会長) 他にありませんでしょうか。それでは以上を持ちまして、すべての議事が終わりましたので、進行を事務局に戻します。皆さんお疲れさまでした。